

木材を燃やして出来る木炭を活性化した微粉末や粒状のもの。内部に多くの穴をもつことで表面積を増やしている。一般に物質の表面は内部と異なり他の分子と結合し易い性質がある。活性炭はその表面や穴に多くの分子を結合させることが出来るため吸着剤として利用されている。 活性化の方法には 1000～1200 度の高温で木炭に水蒸気を当てる方法などがある。

(松村)